

## 令和元年度学校保健統計調査の結果速報(山形県)について

### 【調査結果の主なポイント】

- 身長は、男女ともにほとんどの年齢で全国平均を上回っている。
- 体重は、男女ともにすべての年齢で全国平均を上回っている。
- 肥満傾向児出現率は、男女ともにほとんどの年齢で全国平均を上回っている。
- むし歯(う歯)の者の割合は、当該項目調査開始(昭和45年度)以来、小学校、中学校、高等学校で過去最低になっている。

### 【調査結果の概要】

#### < I 発育状態 >

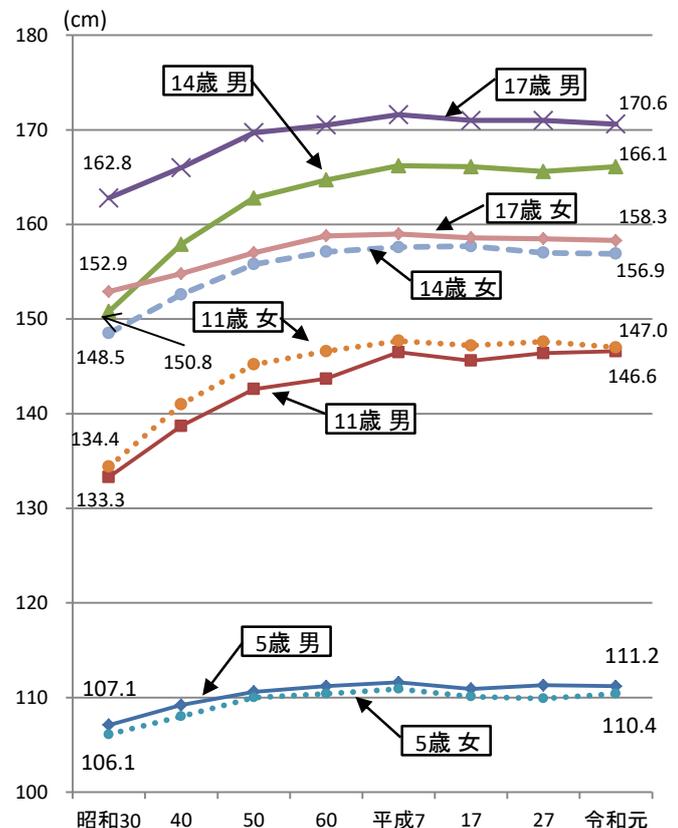
#### 1 身長(平均値)

- ・身長の平均値は、男女ともに調査開始(昭和23年度)以降、伸びる傾向にあったが、概ね平成15年度頃までに各年齢でピークを迎え、それ以降はほぼ横ばいで推移している。

表1 年齢別 身長の平均値 (単位: cm)

区分	山形県				全国(C)	差(A)-(C)			
	令和元年度(A)	全国順位	平成30年度(B)	差(A)-(B)					
男子	幼稚園 5歳	111.2	4	111.0	0.2	110.3	0.9		
	小学校	6	116.8	9	116.9	△0.1	116.5	0.3	
		7	123.4	1	122.7	0.7	122.6	0.8	
		8	129.0	4	129.5	△0.5	128.1	0.9	
		9	134.7	1	134.0	0.7	133.5	1.2	
		10	139.2	15	139.8	△0.6	139.0	0.2	
	中学校	11	146.6	2	145.9	0.7	145.2	1.4	
		12	154.0	2	153.0	1.0	152.8	1.2	
		13	161.4	3	160.8	0.6	160.0	1.4	
		14	166.1	5	166.2	△0.1	165.4	0.7	
		15	168.8	8	168.7	0.1	168.3	0.5	
	高等学校	16	170.1	14	170.1	0.0	169.9	0.2	
		17	170.6	18	170.9	△0.3	170.6	0.0	
	女子	幼稚園 5歳	110.4	4	110.0	0.4	109.4	1.0	
		小学校	6	116.2	5	116.6	△0.4	115.6	0.6
			7	122.1	4	121.6	0.5	121.4	0.7
			8	128.3	3	127.9	0.4	127.3	1.0
9			134.3	5	134.1	0.2	133.4	0.9	
10			141.1	4	140.9	0.2	140.2	0.9	
中学校		11	147.0	7	147.5	△0.5	146.6	0.4	
		12	152.2	8	152.8	△0.6	151.9	0.3	
		13	155.1	13	155.4	△0.3	154.8	0.3	
		14	156.9	5	157.0	△0.1	156.5	0.4	
		15	157.1	15	158.2	△1.1	157.2	△0.1	
高等学校		16	158.7	1	157.9	0.8	157.7	1.0	
		17	158.3	6	158.4	△0.1	157.9	0.4	

図1 身長の平均値の推移



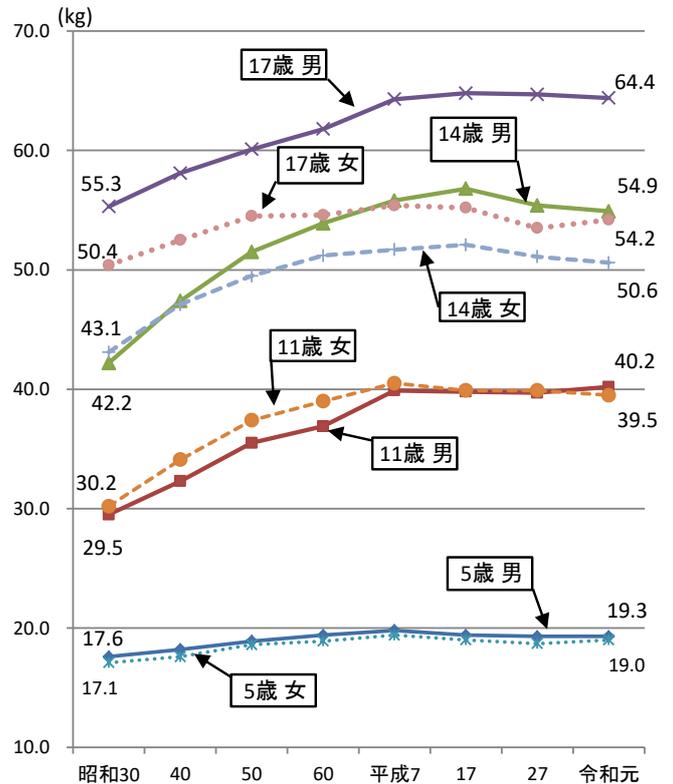
## 2 体重（平均値）

- ・体重の平均値は、男女ともに調査開始（昭和23年度）以降、増加したが、概ね平成15年度頃までに各年齢でピークを迎え、それ以降は年齢によって微減傾向になっている。

表2 年齢別 体重の平均値 (単位：kg)

区分	山形県				全国 (C)	差 (A)-(C)			
	令和元年度(A)	全国順位	平成30年度(B)	差 (A)-(B)					
男子	幼稚園 5歳	19.3	6	19.2	0.1	18.9	0.4		
	小学校	6	21.8	5	22.0	△0.2	21.4	0.4	
		7	24.9	4	24.5	0.4	24.2	0.7	
		8	28.1	5	28.5	△0.4	27.3	0.8	
		9	32.1	1	31.8	0.3	30.7	1.4	
	中学校	10	35.4	5	35.6	△0.2	34.4	1.0	
		11	40.2	4	39.7	0.5	38.7	1.5	
		12	45.8	5	45.2	0.6	44.2	1.6	
		13	51.0	5	49.6	1.4	49.2	1.8	
	高等学校	14	54.9	10	55.4	△0.5	54.1	0.8	
		15	60.8	2	59.6	1.2	58.8	2.0	
		16	62.2	4	62.1	0.1	60.7	1.5	
		17	64.4	4	63.8	0.6	62.5	1.9	
	女子	幼稚園 5歳	19.0	3	18.9	0.1	18.6	0.4	
		小学校	6	21.6	4	21.5	0.1	20.9	0.7
			7	24.1	3	23.8	0.3	23.5	0.6
			8	27.6	2	27.4	0.2	26.5	1.1
9			31.5	2	31.1	0.4	30.0	1.5	
中学校		10	35.3	4	35.4	△0.1	34.2	1.1	
		11	39.5	16	40.4	△0.9	39.0	0.5	
		12	44.7	6	44.9	△0.2	43.8	0.9	
		13	47.9	12	47.9	0.0	47.3	0.6	
高等学校		14	50.6	9	51.3	△0.7	50.1	0.5	
		15	52.8	4	53.5	△0.7	51.7	1.1	
		16	54.3	2	54.5	△0.2	52.7	1.6	
		17	54.2	3	54.1	0.1	53.0	1.2	

図2 体重の平均値の推移



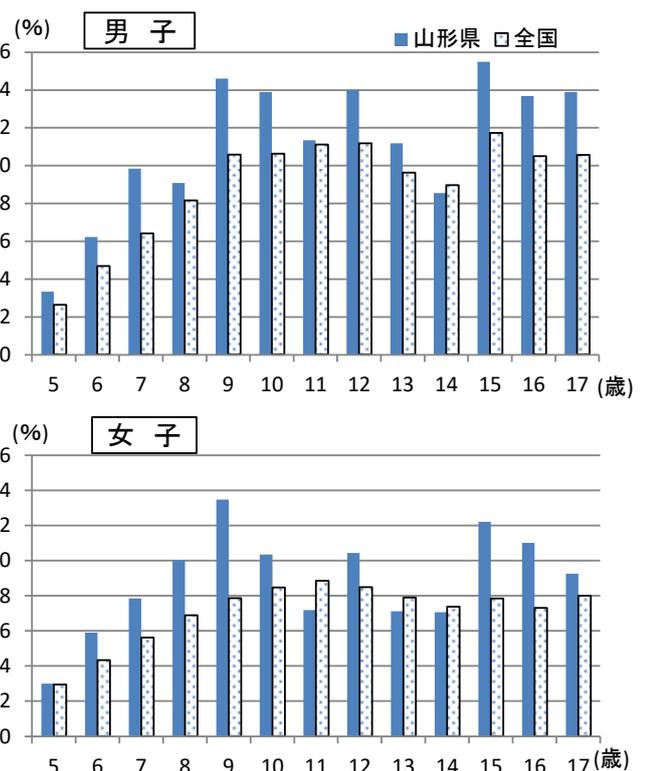
## 3 肥満傾向児の出現率

- ・全国と比べ、男子は14歳の8.55%（全国8.96%）を除く各年齢で、女子は11歳の7.19%（同8.84%）、13歳の7.11%（同7.88%）、14歳の7.06%（同7.37%）を除く各年齢で上回っている。

表3 年齢別 肥満傾向児の出現率 (単位：%)

区分	山形県				全国 (C)	差 (A)-(C)			
	令和元年度(A)	全国順位	平成30年度(B)	差 (A)-(B)					
男子	幼稚園 5歳	3.33	14	2.50	0.8	2.63	0.7		
	小学校	6	6.22	8	7.99	△1.8	4.68	1.5	
		7	9.84	4	9.08	0.8	6.41	3.4	
		8	9.08	21	9.72	△0.6	8.16	0.9	
		9	14.60	3	15.39	△0.8	10.57	4.0	
	中学校	10	13.90	6	13.77	0.1	10.63	3.3	
		11	11.35	25	13.88	△2.5	11.11	0.2	
		12	14.01	8	12.76	1.3	11.18	2.8	
		13	11.18	11	8.01	3.2	9.63	1.6	
	高等学校	14	8.55	27	10.85	△2.3	8.96	△0.4	
		15	15.50	8	11.35	4.2	11.72	3.8	
		16	13.68	7	13.10	0.6	10.50	3.2	
		17	13.89	8	13.32	0.6	10.56	3.3	
	女子	幼稚園 5歳	3.00	19	3.18	△0.2	2.93	0.1	
		小学校	6	5.90	12	7.82	△1.9	4.33	1.6
			7	7.84	8	6.39	1.5	5.61	2.2
			8	10.02	7	11.61	△1.6	6.88	3.1
9			13.47	2	10.87	2.6	7.85	5.6	
中学校		10	10.34	9	11.07	△0.7	8.46	1.9	
		11	7.19	40	10.87	△3.7	8.84	△1.7	
		12	10.44	13	9.11	1.3	8.48	2.0	
		13	7.11	36	7.98	△0.9	7.88	△0.8	
高等学校		14	7.06	30	9.38	△2.3	7.37	△0.3	
		15	12.21	4	12.28	△0.1	7.84	4.4	
		16	11.01	4	12.51	△1.5	7.30	3.7	
		17	9.26	11	10.51	△1.3	7.99	1.3	

図3 年齢別 肥満傾向児の出現率



## < II 健康状態 >

### 1 裸眼視力 1.0 未満の者の割合

- ・全国と比べて、小学校と中学校は下回っているが、幼稚園は上回っている。
- ・前年度と比べて、小学校は増加、中学校では減少している。

学校種別	幼稚園	小学校	中学校	高等学校
R01	26.6%	31.5%	54.0%	非公表 <sup>(※)</sup>
H30	非公表 <sup>(※)</sup>	30.0%	58.9%	66.8%
R01 全国	26.1%	34.6%	57.5%	67.6%

### 2 鼻・副鼻腔疾患の者の割合

- ・全国と比べて、全ての学校で上回っている。
- ・前年度と比べて、幼稚園、小学校、高等学校は増加し、中学校では減少している。

学校種別	幼稚園	小学校	中学校	高等学校
R01	5.1%	16.0%	13.0%	12.3%
H30	2.4%	15.6%	16.3%	10.8%
R01 全国	3.2%	11.8%	12.1%	9.9%

### 3 むし歯（う歯）の者の割合

- ・全国と比べて、中学校、高等学校は下回っているが、小学校では上回っている。
- ・前年度と比べて、小学校、中学校、高等学校で減少している。

学校種別	幼稚園	小学校	中学校	高等学校
R01	非公表 <sup>(※)</sup>	46.9%	28.5%	37.4%
H30	32.6%	49.6%	29.7%	37.5%
R01 全国	31.2%	44.8%	34.0%	43.7%

### 4 ぜん息の者の割合

- ・全国と比べて、幼稚園、高等学校は下回っているが、小学校、中学校は上回っている。
- ・前年度と比べて、幼稚園と高等学校は減少し、小学校と中学校では増加している。

学校種別	幼稚園	小学校	中学校	高等学校
R01	1.6%	4.5%	3.1%	1.7%
H30	1.8%	4.1%	2.7%	2.4%
R01 全国	1.8%	3.4%	2.6%	1.8%

※「非公表」とは、受検者数が少ない、または標準誤差が大きいため統計数値を公表しないものを指す。

#### 学校保健統計調査とは

- 1 目的：学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすること。
- 2 調査対象：国立、公立、私立の幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校の満5歳から17歳までの児童等の一部。  
 [抽出率] 発育状態：全幼児、児童及び生徒の11.6% (13,197人)  
 健康状態：全幼児、児童及び生徒の48.3% (54,820人)
- 3 調査事項：学校保健安全法により実施される健康診断の結果に基づき、児童等の発育状態（身長、体重）及び健康状態（疾病・異常の有無）を調査。
- 4 調査時期：平成31年4月1日から令和元年6月30日の間に実施。
- 5 公表時期：速報 令和元年12月20日  
 確報 令和2年3月（予定） 学校保健統計調査結果報告書（文部科学省）